

平成 26 年 7 月 6 日

外務省 国際情勢講演会

「女性・平和・安全保障に関する行動計画」 意見交換会 in 仙台

NPO 法人ウィメンズスペースふくしま

副代表理事 小倉 久美子

1. はじめに

2007 年「女性の自立を応援する会」設立 DV 防止啓発と被害者支援

2011 年 東日本大震災・福島第一原子力発電所爆発事故

県内最大の避難所内に「女性専用スペース」「ホッとカフェ」仮設住宅で「ホッとカフェ」

2012 年 2 月内閣府主催 被災地における女性の悩み・暴力相談事業「女性のための電話相談・福島」

2012 年 12 月 NPO 法人「ウィメンズスペースふくしま」と改称

○ 被災地福島で生きる

○ 電話相談から見える福島の女性たち

2. 被災者に対して迅速かつ正確な情報を伝達することで被害の拡大を防止

○ 両極の情報の氾濫⇒混乱⇒自己決定⇒自己責任

○ 26 年 3 月 13 日現在の県外避難者数 47, 683 人

○ 福島県に残った子育て世代の母親のストレス

○ 「絆」

3. 潜在化している DV と女性相談事業の重要性

○ ジェンダー

○ 女性の貧困

○ DV の陰に見え隠れする子どもへの虐待

○ 行政と市民団体との連携

○ 時間の経過とともに変化する女性の悩み⇒継続した相談事業⇒女性の安全と平和

4. 支援物資・義援金・賠償金等の支給は原則として個人単位で

○ 地域の分断、心の分断、家族の分断

○ 25 年 3 月避難指示区域の再編①帰還困難区域②居住制限区域③避難指示解除準備区域

5. 多様な価値観や生き方が認められる社会の実現を目指して

○ 意思決定機関に参画する女性の数、あらゆる分野・活動の女性リーダーの数を半分に引き上げる。